

三星鹿屋

県立鹿屋高等学校PTA広報誌



第64号

発行日 平成25年7月19日
発行行 県立鹿屋高等学校PTA
発行責任者 床次広有PTA会長
編集責任者 市来理恵子広報部長
題 字 田中翔乃(2年)

- 1 面: PTA会長、校長、のど自慢出場
- 2 面: 総会報告、新役員紹介、市P連研修会等
- 3 面: 3年進路講演会、目からウロコ、ようこそ先輩
- 4・5 面: 職員紹介
- 6・7 面: 部活動紹介
- 8 面: 今日の弁当、栄養士さんから、編集後記

PTAのプリン



PTA会長
床次 広有

現在の社会環境は、産業の空洞化、経済不安や原発問題など多くの課題が山積しています。この不安定な情勢の中で、子どもを健全に育成するためには今まで以上の教育力がが必要です。PTAとして次の3点を提案します。

1 親も子も成長

「子どもは社会の鏡である」と云われます。子どもが成長するには先ず大人が大人としての範を垂れなければいけません。三星健児の親としての自覚を持ち、信頼される存在でありたいと思います。

2 家庭の教師と学校の教師

PTA (Parent-Teacher Association) は名のとおり「保護者と教師の会」です。家庭の教師と学校の教師が連携を保ち、子どもの成長をサポートすべきです。家庭で果たすべき保護者としての役割

を再確認し、先生方の信頼を得て、真のPTA活動を目指す覚悟です。

3 利他意識の育成

新世代の青少年は、個性的かつ独立した考えを持ちながらも利他意識と責任感が薄いことが問題となっています。心に善良さと希望を持ち、敬意の念を抱く余裕のある三星健児を育成したいものです。郷原竜児前会長の足跡をたどりつつ、新たなPTA活動を実践したいと思っております。今後とも御支援・御協力をよろしくお願い致します。

「ヤマアラシ」のよひに



校長
神田 芳文

5月のPTA総会で床次広有さんを会長とする新しい役員体制が整い、平成25年度のPTA活動が本格的にスタートいたしました。総会の出席率も93パーセント超ということで、会員の皆様の学校に寄せる期待の大きさを実感しているところであります。

ところで、1年生が使う現代社会の教科書の中に「ヤマアラシのジレンマ」という話が出て来ます。内容は

『2匹のヤマアラシが体をくっつけて暖まろうとしていた。しかし、体が触れてしまうとお互いの針が刺さり傷つけあつてしまう。痛いので体を離せば寒くなる。ヤマアラシは何度もくっついたり、離れたりするうちに、怪我をせずに暖め合う適当な距離を見つけた。友人関係だけではなく、こうした試行錯誤を繰り返して私たちは精神的に自立していくのである。』というものです。ヤマアラシではありませんが、PTA活動を通して、学校と保護者が良好な関係を築きながら子どもさんの自立と夢実現のために連携していけたらと思いますので、会員の皆様のご協力を今後ともよろしくお願い致します。

PTA会長床次さん NHKのど自慢出場!!

6月16日(日)鹿屋市文化会館で行われたNHKのど自慢に床次PTA会長が出演されました。世良公則&ツイストの『燃えろいい女』を歌い、軽妙なダンスと美声で日本中のPTAに元気を届けました。

平成25年6月16日(日) 開場: 午前11時 開演: 午前11時45分 終演予定: 午後1時30分

【予選会】平成25年6月15日(土) 開場: 午後4時 開演: 午後5時

新役員紹介

執行部

会長 床次 広有
副会長 下小野田 隆・山下 雄喜
市来 武己・上谷田 浩幸
船迫 範子・新保 千登勢
下京 洋一(教頭)

各部部長

進路部 西小野 貴子
生指部 宮原 孝一
研修部 久木田 祐子
厚保部 久保園 修一
広報部 市来 理恵子

学年委員長

1 年 岩元 敏昭
2 年 竹之下 記與
3 年 安樂 克美

PTA総会

5月16日(木)平成25年度PTA総会が開催され本年度の活動方針・予算案が承認されました。また、新役員選出があり、新会長の床次広有さん他、新役員が決定しました。



県P連より個人表彰 宮下恵子さん

この春まで本校で評議員をされていた宮下恵子さんが6月1日に開催された平成25年度県P連定期総会においてPTA活動に功績のあった個人として表彰されました。おめでとうございます。

市P連広報紙担当者研修会

6月6日(木)鹿屋市内の小・中・高・養護学校のPTA広報紙担当者を対象とした研修会が開催されました。

全体研修では前市P連会長で本校の広報部員でもあった宮下恵子さんが講師となり、PTA新聞の目的・役割・企画・記事の留意点などを説明して下さいました。

次のグループ研修では市内6高校と養護学校の計7校で、まずは持ち寄ったそれぞれのPTA新聞を回し読みし、各学校が紙面作りで工夫していることなどの発表ならびに他校の新聞作りへの質問などを行いました。

いただいた資料などもとても参考になり、この会で学んだことを今後の新聞作りに生かしていきたいと思います。(P 河野)



PTA会長・副会長合同研修会



6月12日(水)、鹿屋市内の小中高を対象とした、会長・副会長合同研修会が開催されました。全体会では、市P連の活動内容について話がありました。

- ① PTA活動のあり方
- ② PTA会長・副会長の役割
- ③ リーダーのあり方等

でした。

PTAは、保護者と教師が相互に協力して、児童・生徒教育の振興を図る事を目的とし、他の関係団体とも協力しながら優れた教育環境づくりに努める団体であるそうです。分科会では、総会への出席率が他校は低く、苦慮しているとの意見が出ましたが、鹿屋高校は9割以上の出席率があり、改めて凄いと思いました。

PTA副会長 新保 千登勢

市P連研修会等

三年進路講演会

6月14日(金)に3学年PTAと進路講演会がありました。進路講演会では、ベネッセコーポレーションの谷本祐一郎先生が、「希望進路実現に向けて」と題して講演をしてくださいました。3年生も部活を終え、いよいよ受験に立ち向かっていきます。谷本先生は、ご自分の体験に基づき、働くことを見据えた進路選びの大切さを話してくださいました。最後に紹介してくださいました。「次に進むためにも僕は満足したい」の言葉のように、親子でよく話し合い、悔いのない受験にしていきたいものです。

(P新原)



目からウロコ！ 進路について考えよう



7月5日(金)
保護者向け座談会「目からウロコ！進路について考えよう」が開催されました。
内容は

①進路指導部の講話

入試のスケジュールや評定、宅習時間と模試・入試結果の相關関係などの講話

②64期 内村浩大さんの体験談

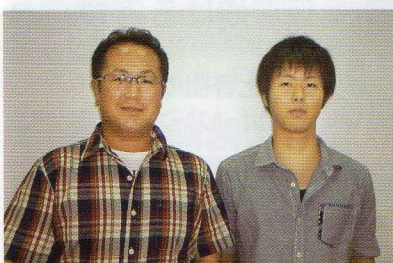
部活との両立の悩み、数々の失敗・試練を乗り越えてつかなかった合格までの談話

③保護者内村匡宏さんの体験談

三者面談の様子や苦しむ息子との関わり方

④質疑応答

参加して良かったとの声が多く、実のある座談会となりました。



父親

「なかなか結果が出ずに苦しむ姿を見ながら、親としては涙がでる思いでした。」

息子

「保護者の支えが力になった。クラスの仲間のお陰で一人ではないと感じた。」

ようこそ先輩

後輩達へ——後悔だけはしないように



平成21年度卒業生
下京 翔一朗

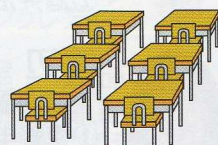
つこがしっかりしていない状態に
枝葉をつけていくのはなかなかしんどかった。そうならないよう、
最初から全力で勉強してほしい。

そして、2つ目は、もつと色々な友達と話しておけばよかったということだ。誰でも「なんだかウマが合わないなあ」と思うことがあるだろう。私も少し話してみただけなのに「ああコイツとはいいいや」と思ってしまったこともある。一言二言話して中身が分かれば苦労しない。豊かな人間関係を構築するためにも、できるだけ色々な人と関わっていくようにしてほしい。

最初から全力で勉強(もちろん部活生は部活も!)すること。できただけ多くの人と関わること。

この2つを心掛けて高校生活を送れば、少なくとも私よりは恵まれた高校生活を送れるのは間違いない。色々大変だろうけど、頑張つてね!

(九州大学法学部卒)



部活青春だあー

本校は31の部活と4つの同好会があり、仲間と身体と精神を鍛え、技を磨いています。日々の課題にも懸命に取り組む部活動生たち。今回は8つの部活を取り上げてみました。さあ、どんな青春を送っているのでしょうか。

美術部

未来へ向かって、
一歩前へ

有嶋 緋鶴

今回、全国大会に出場することになってとてもうれしいです。今回の油絵は「非常口」というテーマで非常口から外へ解放されるイメージで描きました。鹿児島島の油絵は明るい絵が少ないのでこのようなモチーフを選んだのかもしれない。まだ、解放感や立体感が出ておらず、細部の描き込みができていないので不満が残りますが、全国大会で、全国の学生の空気や技術に触れ多くのことを吸収したいです。



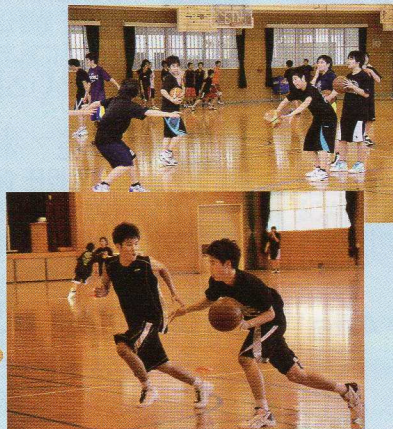
第37回全国高等学校
総合文化祭 美術・工芸部門
出品作品「非常口」

バスケットボール部

あの達成感を
忘れずに

鳥越 浩輔

私は、男子バスケット部に所属し、キャプテンを務めていた。最後の総体では、県1位の川内高校と対戦し、結果は大敗だった。しかし、私は後悔よりも達成感の方が大きかった。そう思えるほど、私の高校バスケットは充実していた。これからは受験勉強に励む毎日になるが、部活同様につて、志望校に合格できるように日々努力したいと思う。

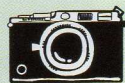


写真部

一生に残る写真を

井元 啓貴

私たち写真部は、2年生6名で活動をしています。昨年度は、体育祭、文化祭、クラスマッチなど、様々な行事で撮影をしました。今年度も、学校行事を中心に様々な写真を撮ってきたいと思っています。特に、2年生は修学旅行が実施されるので、それも撮影していきたいです。人生の中で3年間しかない高校生活の楽しい思い出を少しでも多く写真におさめられるようにしたいと思います。



吹奏楽部

人と人とのつながり

那須 香子

私は現在、吹奏楽部の部長を務めさせていただいています。これまで大変だったことはたくさんありましたがその度に仲間を支えられ今の私がいます。それだけでなく応援の言葉をかけて下さる先生方や保護者の方々、休日、朝早く鍵を開けて下さる日直の方、そして友達の支えとつながりがあったからこそ吹奏楽部はここまで成長することができました。その事を忘れず、色々な方々との出会いに日々感謝して活動できる部であり続けたいと思います。



ダンス部

「羽ばたけ舞姫」

蔵園 芽生

私たちダンス部は、日頃リズムダンスや創作ダンスを練習し、県のダンス発表会や文化祭のステージで発表しています。発表に向け、振りや構成、衣装など準備が大変なこともあります。発表が成功した時の達成感はひとしおです。部活を通して心をつなぐことや協調性の大切さを学びました。施設訪問では人を笑顔にする喜びを感じました。私たちは勉強に部活に行事に充実した3年間を過ごせました。これからも舞姫は活躍してくれると思います。



ラグビー部

「部員大募集！」



堀添 柊平

ラグビーは、1チーム15人という大人数で、ボールを持って走ったり、ぶつかったり、タックルしたり「ボールを持った格闘技」と言われるくらい、とても迫力があり、他の競技にはない魅力がたくさんあります。最近では、ラグビー日本代表がワールドカップに歴史的勝利を果たしました。また2019年には日本でラグビーのワールドカップが開催されることが決まっております、少しずつラグビーに対する関心が高まっています。そんな魅力あふれるラグビーと一緒にしてみませんか！



野球部

「謙虚に、ひたむきに」



池田 健太

新入部員も加入し、総勢68人となった野球部は、甲子園を目標に毎日の練習に励んでいます。監督の山内先生がよくおっしゃる言葉に、「謙虚に、ひたむきに」という言葉があります。夏の大会まで一か月余りとなった今、その言葉の大切さを、改めて感じています。自分たちの力を過信することなく、「まだ力不足だ、下手なんだ」と心からそう思えなくては、日々の練習も無意味なものとなり、成長することはできません。

指導してくださる先生方、日々の練習を支えてくれるマネージャー、日々応援してくださる保護者、全ての方々への感謝の気持ちを胸に、謙虚にひたむきに最後の大会に臨みます。



女子ソフトテニス部

みんなで勝ち取った
ベスト4



山下 綾

私たち女子ソフトテニス部は高校総体の団体でベスト4に入ることができました。このベスト4という結果は本当に部員全員で勝ち取ったものです。私がこれまで人生で経験した中で、一番嬉しい瞬間でした。

最初の頃は負けてばかりで、ソフトテニスの楽しさを感じられない時期もありました。しかし負けてはすぐに反省し、自分たちで練習メニューを考え仲間と一緒に頑張ってきました。進学校で勝ち上がっていくためには限られた練習時間の中でどうすれば強くなれるか、常に考える毎日でした。辛いこともたくさんあり、涙したこともありましたが、このメンバーだったからこそ乗り越えられたし強くなったと思います。

これまで熱く御指導くださった先生方、保護者、先輩、そして最高の仲間への感謝の気持ちを忘れずに、つぎの目標に向けて頑張りたいと思います。

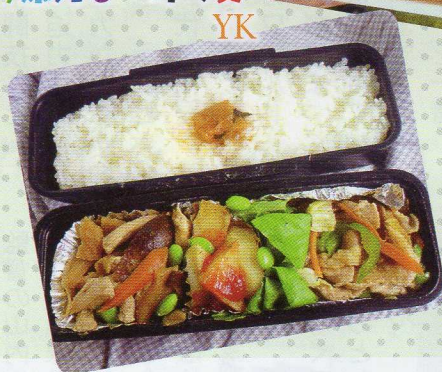


今日の弁当 なんだろう

毎日おいしいお弁当ありがと
う。昼休みの中庭は笑顔であふ
れています。
手作り弁当で愛を感じている
ようです。



ミニトマト
色彩り添える 母の愛
YK



りも健康な身体が必要です。
生活を送るためには、何よ
大きな役目の一つではない
でしょうか。充実した高校
に付けさせることが、親の
判断できるような能力を身
に必要な栄養を考えて選択
べ物を選ぶ機会が多くあり
ます。お子さんが自分の体
に必要

『ペットボトル症候群』
という言葉を耳にしたこと
がありますか。スポーツド
リンクや清涼飲料水を大量
に飲み続けることによって
発症する急性の糖尿病です。
ペットボトル飲料の普及と
手軽さから知らず知らずの
うちに過剰な糖分を摂取す
ることが原因です。砂糖の
取り過ぎは精神的に落ち着
きがない、常にイライラし
ているなどの症状の原因と
なることもあります。

『ペットボトル症候群』
という言葉を耳にしたこと
がありますか。スポーツド
リンクや清涼飲料水を大量
に飲み続けることによって
発症する急性の糖尿病です。
ペットボトル飲料の普及と
手軽さから知らず知らずの
うちに過剰な糖分を摂取す
ることが原因です。砂糖の
取り過ぎは精神的に落ち着
きがない、常にイライラし
ているなどの症状の原因と
なることもあります。

鹿屋市にお勤めの栄養教
諭の吉元恵美先生からアド
バイスをいただきました。
是非、参考になさってくだ
さい。

日々の食事が健康な
身体を作ります!!

PTA新聞64号発行に
当たりましては、ご寄稿
いただきました方々をは
じめ、写真・資料の収集
など、多くの皆様のご理
解・ご協力をいただきま
したことを心から感謝い
たします。内容に関する
ご意見・ご要望等がござ
いましたら、広報部員ま
でお知らせください。

編集後記

- 広報部員**
- 3-1 西園・3-1 新原
 - 3-3 河野・2-1 安部
 - 2-1 田中・2-2 竹之下
 - 2-4 郷原・2-4 久保園
 - 2-4 今釜・2-7 小濱
 - 2-8 鵜瀬・1-2 市来
 - 1-4 有馬・1-5 猪野
 - 1-8 長谷
- 担当副会長**
- 2-4 新保・1-7 船迫
- 担当職員**
- 児嶋・上床・黒原

その健康な身体を作るのが
日々の食事であることを、
親子で再度見つめ直す機会
をぜひもっていただきたい
と思います。